

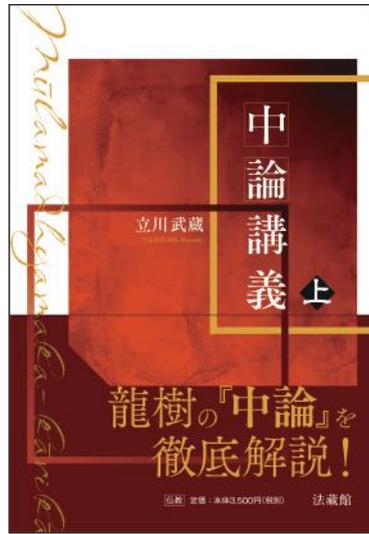
中論講義 上

たちかわ むさし

立川武蔵著

▼46判・上製カバー・328頁・定価三、八五〇円

2024年11月刊行



大乘仏教の思想的核となった『中論』。
龍樹の論法とは、いかに形式論理学によ
るものだったのか。『中論』研究の泰斗が
丁寧に解明。

【目次】

- 序
- 第一章 因縁の考察―ものと生ずること―
- 第二章 運動の考察―歩く人と歩くこと―
- 第三章 感覚器官の考察―見るものと見られるもの―
- 第四章 構成要素(蘊)の考察―原因と結果―
- 第五章 元素(界)の考察―特質と特質づけられるもの―
- 第六章 煩惱と煩惱に染められた人の考察
- 第七章 有為と生・住・滅の考察
- 第八章 行為と行為者の考察
- 第九章 見る働きとそれに先行する者の考察
- 第一〇章 火と薪の考察―能動と受動―
- 第十一章 始まりと終わりの考察
- 第十二章 苦と個我の考察
- 第十三章 現象の考察―自性と変化―
- 第十四章 和合の考察―感官と対象―
- 第十五章 自性の考察―自体と他体―
- 略語および文献

◆著者略歴

立川武蔵(たちかわ むさし)

一九四二年、名古屋生まれ。名古屋大学文学部卒。文学博士(名古屋大学)。Ph.D.(ハーバード大)。名古屋大学文学部教授、国立民族学博物館教授、愛知学院大教授を経て、現在、国立民族学博物館名誉教授。
専門はインド学・仏教学。著書に『中論の思想』(法藏館)、『空の思想史』『日本仏教の思想』『ブデイスト・セオロジー』(5巻)(講談社)、『マンガラ観想と密教思想』『三人のブツダ』(春秋社)、『最澄と空海』『死と生の仏教哲学―親鸞と空海を読む』(KADOKAWA)など。

◎二〇二五年春刊行

たちかわ むさし
立川武蔵著

中論講義 下

▼46判・上製カバー・予330頁・予価三、八五〇円

注文書	
(書店印)	
様	ご担当
冊	
法藏館	立川武蔵著
定価一、七六〇円	中論講義 上
ISBN: 978-4-8318-2483-7 C3015	
お住所	お名前
お電話	お電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・哲学